

輸出事業計画

※申請者名：株式会社流通サービス、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・製茶問屋として100年茶業（現在4代目）を行ってきたが、「自分で造って自分で売る」ことを目的として現在の流通サービスを創業し、農業法人となり、自社農園で有機栽培で造った碾茶を、製造、加工、最終商品化して40の国・地域へ輸出を行っている。ソーラーパネルの下で栽培したSDGs抹茶を購入したいとのリクエストが急増していることから、特にアメリカ、EU市場からの引き合いが急増している。



【課題】

・アメリカ、EU市場から有機抹茶の引き合いが急増しており、生産が追い付かない。また、ソーラーパネルの下で有機碾茶に適した品種及び栽培する圃場が足りない。

・FSSC22000、6.0バージョンへのアップグレード問題。

新規顧客の確保に向けて展示会や商談会の機会を活用するとともに、既存の販売先と情報交換や共有を図り販路拡大を図る必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産・製造】

需要に対して生産が追い付かないので当社と協働(契約栽培)を行っていただける生産農家と10社以上(50ha)契約してソーラーパネルを設置、有機碾茶・品種への改植を行う。また、碾茶製造ラインも5ライン設置予定。

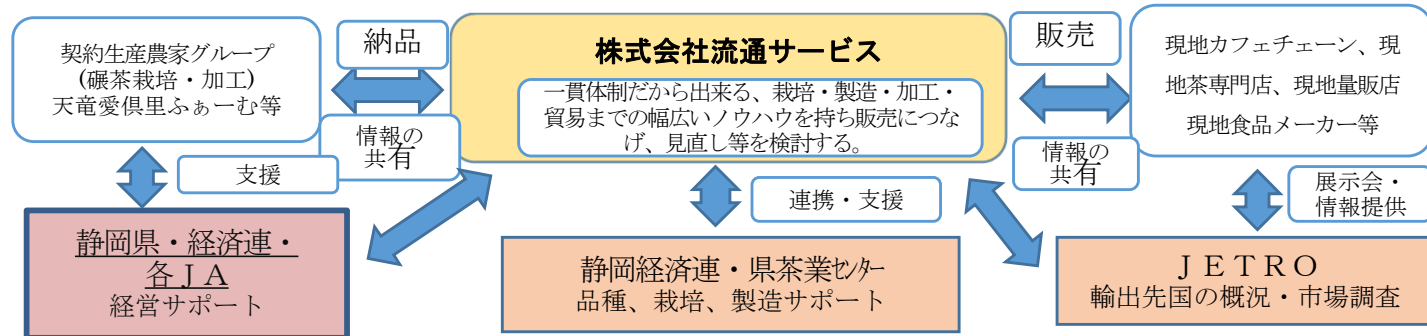
【加工】

・製造ラインを増設して増産の要請に対応する。またFSSC22000認証のバージョンアップグレードを取得する。

【販売】

・セミナーや展示会等を通じて新規顧客へのアプローチし販路拡大を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制。



4. 輸出目標額

	現状(令和4年)	目標年(令和6年)
輸出額(円)	60,000,000	110,000,000
輸出量(t)	7	15
輸出国	米国、EU、UK、タイほか	米国、EU、UK、タイほか